

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第46週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(新型インフルエンザ等感染症)の報告が2,881例あり、先週(2,579例)の約1.1倍であった。2022年の累積報告数は204,162例となった。※詳細は宮崎県新型コロナウイルス感染症特設サイトを御覧ください。

全数報告の感染症(46週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：報告なし。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：つつが虫病 2 例、レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、梅毒 4 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	女	—	O血清群不明(VT型不明)
4類	つつが虫病	日南	40歳代	男	—	頭痛、発熱、リンパ節腫脹、発疹、肝機能障害
		小林	20歳代	男	—	発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
	レジオネラ症	宮崎市	70歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	90歳代	男	—	腎不全、DIC
		宮崎市	10歳代	女	無症状病原体保有者	なし
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
			30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	鼠径部リンパ節腫脹、丘疹性梅毒疹
梅毒	高鍋	20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、硬性下疳、梅毒性パラ疹、丘疹性梅毒疹	

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は283人(定点当たり8.0)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及びA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は水痘、手足口病及びヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

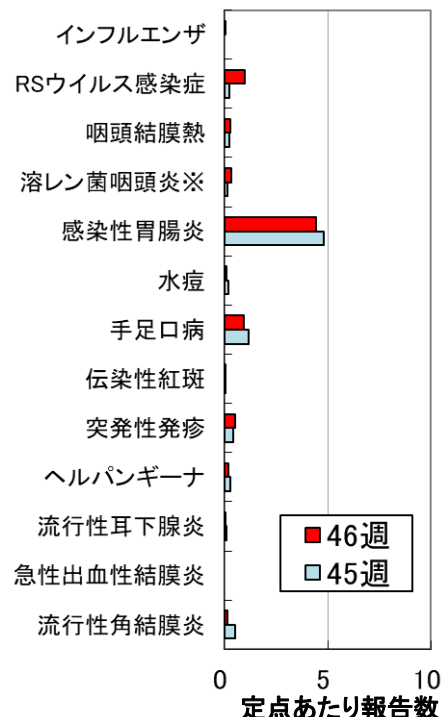
【RSウイルス感染症】

報告数は35人(0.97)で、前週比389%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.35)の約2.8倍であった。小林(8.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

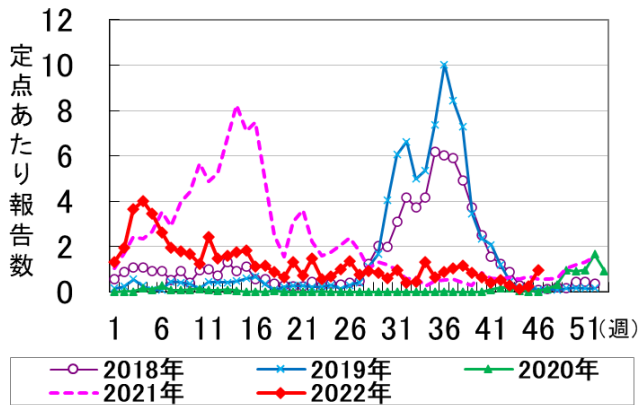
【感染性胃腸炎】

報告数は159人(4.4)で、前週比91%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(7.1)の約0.6倍であった。中央(9.0)、日南(8.7)、都城(6.2)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約4割を占めた。

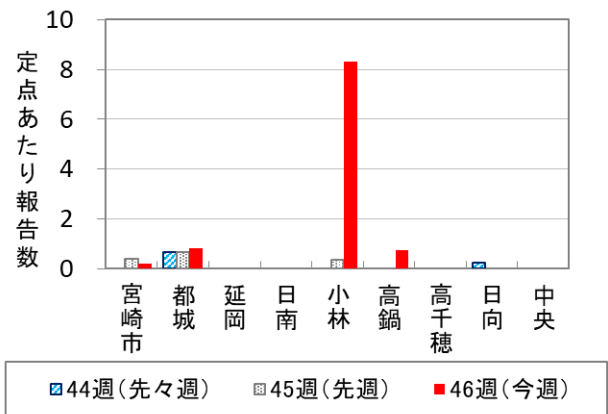
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



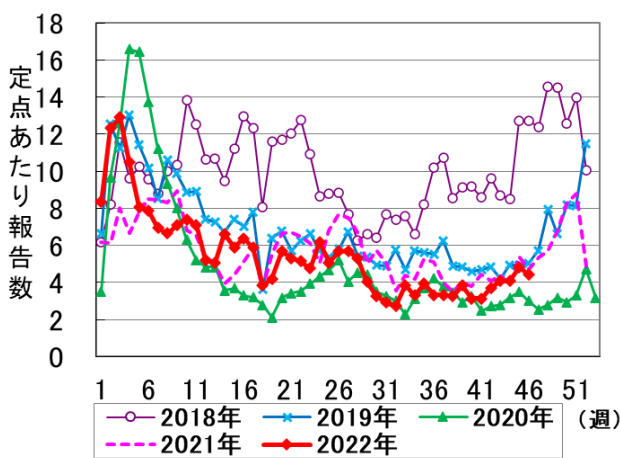
RSウイルス感染症 発生状況



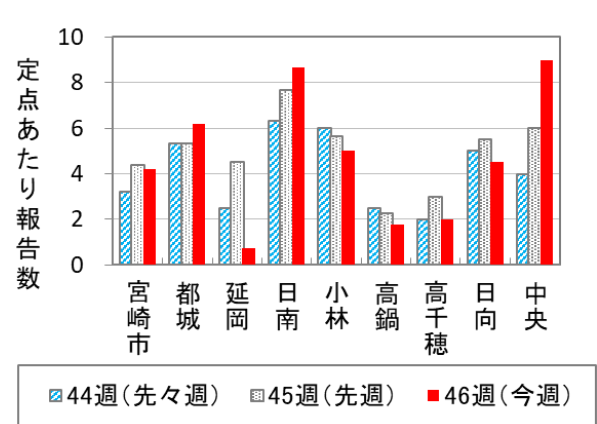
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和4年11月21日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(OUT:HUT)	30歳代	男	2022.10.13	発熱(39.0℃)、 胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.10.25
Salmonella Thompson(O7:k:1,5)	0~4歳	女	2022.10.17	発熱(39.0℃)、 胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐)	便	2022.10.25
Salmonella Alachua(O35:z4,z23:-)	60歳代	男	2022.11.01	発熱(38.1℃)、 胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2022.11.09
Salmonella Braenderup(O7:e,h:e,n,z15)	5~9歳	男	2022.11.04	発熱(39.0℃)、 胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2022.11.11

★ウイルス なし

✚ 全国 2022 年第 45 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	220 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38 例				
4類感染症	Ｅ型肝炎	4 例	つつが虫病	25 例	デング熱	5 例
	日本紅斑熱	6 例	レジオネラ症	24 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	32 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クリプトスポリジウム症	1 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8 例	後天性免疫不全症候群	4 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	30 例
	水痘(入院例)	3 例	梅毒	191 例	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	8 例
	風しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 105%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎及び水痘で、減少した主な疾患は手足口病、伝染性紅斑及びヘルパンギーナであった。

RSウイルス感染症の報告数は 2,449 人(0.78)で前週比 92%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.51)の約 1.5 倍であった。山形県(4.2)、福島県(2.5)、沖縄県(2.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳以下が全体の約 9 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 8,730 人(2.8)で前週比 114%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.6)の約 0.8 倍であった。福井県(6.1)、大分県(5.6)、埼玉県(5.0)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 4 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第46週(11月14日～11月20日)

疾病名	第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	1				1				
	定点当り	0.00	0.03	0.06	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	9	35	2	5		25	3			
感染症	定点当り	0.25	0.97	0.20	0.83	0.00	8.33	0.75	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	8	11	7	1		1	1		1	
	定点当り	0.22	0.31	0.70	0.17	0.00	0.33	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性	報告数	5	12	5	2	1		1		3	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.14	0.33	0.50	0.33	0.33	0.00	0.25	0.00	0.75	0.00
感染性胃腸炎	報告数	174	159	42	37	3	26	15	7	2	18
	定点当り	4.83	4.42	4.20	6.17	0.75	8.67	5.00	1.75	2.00	4.50
水痘	報告数	7	3	2	1						
	定点当り	0.19	0.08	0.20	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	43	33	6	2	12	2	1	7		3
	定点当り	1.19	0.92	0.60	0.33	3.00	0.67	0.33	1.75	0.00	0.75
伝染性紅斑	報告数	1	1		1						
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	15	18	8	1	4	2	3			
	定点当り	0.42	0.50	0.80	0.17	1.00	0.67	1.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	7	2	2	3					
	定点当り	0.31	0.19	0.20	0.33	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1							1	
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	3	1	1							
	定点当り	0.50	0.17	0.33	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～46週)

2類感染症	結核	109例		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	65例(1)		
4類感染症	E型肝炎	2例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	日本紅斑熱	11例	レジオネラ症	4例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	6例
	急性脳炎	3例	クリプトスポリジウム症	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例(1)	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	89例(4)	播種性クリプトコックス症	6例
	百日咳	14例		
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	204162例(2881)		
			つつが虫病	13例(2)
			レプトスピラ症	3例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	8例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
			ジアルジア症	1例
			水痘(入院例)	3例
			破傷風	5例

()内は今週届出分、再掲